

外航コンテナの国内フィーダー輸送実績報告  
(平成23年度実績)

平成24年10月

日本内航海運組合総連合会  
基本政策推進小委員会  
(フィーダーコンテナWG)

## 外航コンテナの国内フィーダ輸送実績（23年度報告）

平成23年度における外航二次コンテナ輸送量の実態調査結果は以下の通りである。

### 1. 調査対象会社

内航海運事業者、旅客フェリー（長距離フェリー）事業者の内、前回の調査対象会社で輸送実績のあった事業者を中心に、13社に対して調査を実施した。

#### (1) フィーダ・コンテナ輸送事業者

調査を依頼した13社（22年度13社）すべての事業者から有効回答を得られた。

尚、今回の調査において変動があった事業者としては、西日本内航フィーダー合同会社が新たに加わり、株式会社フェリーさんふらわあの記載がなくなった。西日本内航フィーダーは平成23年5月に新たにサービスを開始し、当初は1隻のみの運航であったが、同年12月から2隻体制になった。一方、フェリーさんふらわあは、従来、大阪～松山でコンテナを輸送していたが、そのサービスを取り止めてコンテナの取り扱いが無くなったことによる。

#### (2) 使用船腹

使用船腹は、一般貨物船20隻（22年度6隻）、コンテナ船21隻（22年度32隻）、RORO船4隻（22年度3隻）、フェリー5隻（22年度9隻）、その他4隻（22年度4隻）であり、合計54隻（22年度54隻）となった。

なお、今年度調査より、使用船腹を暫定措置事業の区分に準じて、一般貨物船及びセルガイド設置が建造要件のコンテナ船に建造区分したため、分類上前者が増加、後者が減少した。

### 2. 調査結果

調査結果について下記に要約する。なお、詳細を5～13頁に示す。

#### (1) 輸送実績

実入コンテナ	353,955	TEU	(22年度対比)	約	7.6%	減
空コンテナ	227,522	TEU	(22年度対比)	約	3.6%	減
総計	581,477	TEU	(22年度対比)	約	6.1%	減

#### (2) 積地・揚地別輸送量

平成23年度における積地別の輸送量は、関西（約194千TEU、33.5%）、関東（107千TEU、18.6%）、中国（81千TEU、14.0%）、四国（51千TEU、8.8%）、中部（49千TEU、8.5%）、九州（47千TEU、8.3%）、東北（37千TEU、6.4%）、北海道（11千TEU、1.9%）の順であり、揚地別の輸送量は、関西（約191千TEU、

33.0%)、関東(93千TEU、16.0%)、中国(84千TEU、14.5%)、中部(67千TEU、11.7%)、九州(46千TEU、8.1%)、四国(43千TEU、7.5%)、東北(41千TEU、7.2%)、北海道(12千TEU、2.2%)の順となった。

なお、前年度と比較したところ、増減が著しい地域は、積地では北海道(-31.8%)、東北(-33.1%)。揚地では東北(-25.1%)、関東(-24.4%)であった。

反面、積地では四国(2.5%)、中国(8.9%)、揚地では中国(18.5%)、九州(10.1%)が前年比で増加した。

### (3) 地域間流動

平成23年度における地域間の流動量は、関西／中国・四国・九州の間及び関東／中部・東北の間で多く、総じて過去と同様の傾向にあるが、前年度実績との比較から、関西／中国・九州の間及び関東／中部の間ではそれぞれ増加し、関東／東北・北海道の間では減少した。

#### ① 実入、空コンテナ別の地域間流動

実入コンテナの積量は、関西、中国、関東、中部、四国の順で多く、空コンテナの積量は、関西、関東、四国が多い。

実入コンテナの揚量は、関西、関東が多く、空コンテナの揚量は、中国、関西、中部の順が多い。

#### ② 20、40フィート(ft)別の地域間流動

20ftコンテナの積量は、関西、四国、中国、関東の順で多く、40ftコンテナの積量は、関西、関東、中国、中部の順が多い。

20ftコンテナの揚量は、関西、四国、中国、関東の順で多く、40ftコンテナの揚量は、関西、関東、中国、中部の順が多い。

なお、各方面からの東北向けに関しては、概ね取り扱い量が対前年費と比べて減少している。

### (4) 今期の特記事項

平成23年3月11日に東日本大震災が発生したことにより、平成23年度の外航二次コンテナ輸送は大きな影響を受けた。被災地の港湾が使用不能になったのに加えて、東北地方の生産拠点が被害を受けて、東北からの工業製品等の出荷が減少したことによる。仙台港では、従来内航フィーダー船の他に外航コンテナ船も寄港して輸出コンテナ貨を積み取っていたが、震災で港湾施設が壊滅的な被害を受けたことにより、震災後約3ヶ月は外航コンテナ船、フィーダー船とも寄港出来なくなった。その後、平成23年6月からフィーダー船の寄港が可能となり、外航コンテナ船の寄港が再開されるようになった平成24年1月までの間は、寄港できない外航船に代わって、内航フィーダーによるコンテナ取扱量が一時的に増加するという状況も見られた。

一方、福島第一原子力発電所からの放射能汚染を恐れた外国船の中には、京浜港への入港を忌避して、京浜揚げのコンテナを阪神港で揚げるものが続出した。震災発生

後、同年6月26日までに京浜港への寄港を取り止めた外航コンテナ船は44隻に上り、約3千TEUのコンテナが、予定していた京浜港ではなく阪神港で陸揚げされて、物流の現場が大混乱に陥った。これら阪神揚げのコンテナの大部分にあたる約2,500TEUは、内航フィーダー船によって京浜へ回送されて、非常時にあって内航フィーダーが物流の機能維持に貢献するものであることを示す形になった。

震災以外では、外航コンテナ船社において、合理化のためアライアンスを再構築する動きが見られた。グランドアライアンスを構成する日本郵船など外航コンテナ船3社と、ザ・ニューワールドアライアンスを構成する商船三井など3社は、新たにG6アライアンスを結成し、平成23年3月からアジア～欧州において新サービスを開始した。G6アライアンスが運営する6つの航路（ループ）のうち日本に寄港するのは1ループだけである。平成23年度において、新アライアンス結成の影響はまだ小さいが、新年度以降、内航フィーダーに配船合理化の影響が出ることが予想される。

平成23年度内航船による外航コンテナフィーダー輸送量実績調査

[会社名及び使用船舶一覧表]

会社名	使用船舶			
	船種	暫定船分	船型(G/T)	隻数
近海郵船物流(株)	RORO船	暫定	8,348	1
	RORO船	暫定	8,349	1
	コンテナ船	暫定	749	1
	一般貨物船	暫定	499	1
大王海運(株)	コンテナ船	その他	499	1
ナラサキスタックス(株)	コンテナ船	暫定	749	1
井本商運(株)	コンテナ船	暫定	749	9
	コンテナ船	暫定	748	1
	コンテナ船	暫定	499	4
	一般貨物船	暫定	499	1
	コンテナ船	暫定	498	2
	一般貨物船	暫定	498	2
マロックス(株)	コンテナ船	暫定	499	1
鈴与海運(株)	一般貨物船	暫定	499	8
	一般貨物船	暫定	498	1
	一般貨物船	暫定	491	1
南日本汽船(株)	一般貨物船	暫定	499	2
	一般貨物船	暫定	749	1
日本通運(株)	一般貨物船	暫定	7,323	2
	一般貨物船	その他	7,754	1
	RORO船	暫定	10,470	2
(株)ユニエックス	その他	その他	585	1
	その他	その他	548	1
阪九フェリー(株)	フェリー	その他	13,353	1
	フェリー	その他	15,188	1
横浜コンテナライン(株)	コンテナ船	その他	749	1
四国開発フェリー(株)	フェリー	その他	9,917	1
	フェリー	その他	9,975	1
	フェリー	その他	15,732	1
西日本内航フィーダー(合)	その他	その他	2,378	1
	その他	その他	2,361	1
暫定船				42
その他				12
合計				54

内航船による外航コンテナフィーダ輸送量 平成23年度実績

[積地別]

積地	実入コンテナ			空コンテナ			合計			%
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	623	2,628	5,879	1,250	2,004	5,258	1,873	4,632	11,137	1.9%
東北	722	13,408	27,538	2,363	3,596	9,555	3,085	17,004	37,093	6.4%
関東	9,106	25,086	59,278	3,539	22,524	48,587	12,645	47,610	107,865	18.6%
中部	5,478	18,567	42,612	1,251	2,893	7,037	6,729	21,460	49,649	8.5%
関西	18,928	32,849	84,626	28,254	41,029	110,312	47,182	73,878	194,938	33.5%
四国	15,227	8,996	33,219	4,453	6,818	18,089	19,680	15,814	51,308	8.8%
中国	16,291	27,176	70,643	1,829	4,519	10,867	18,120	31,695	81,510	14.0%
九州	4,650	12,755	30,160	6,805	5,506	17,817	11,455	18,261	47,977	8.3%

総計	71,025	141,465	353,955	49,744	88,889	227,522	120,769	230,354	581,477	100%
----	--------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	------

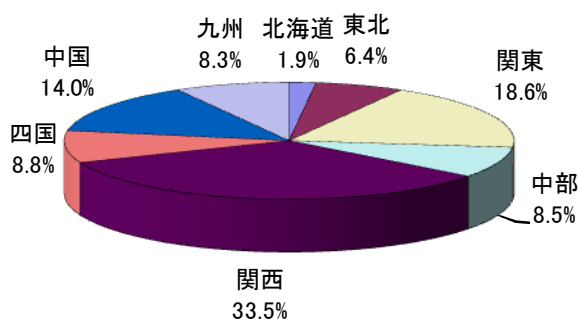
[地域別]

- 北海道：北海道
- 東北：青森、岩手、宮城、福島
- 関東：東京、神奈川、茨城、千葉
- 中部：静岡、愛知、三重
- 関西：大阪、兵庫、和歌山
- 四国：香川、愛媛、徳島
  
- 中国：広島、岡山、山口
  
- 九州：福岡、大分、宮崎

[積地港別]

- 北海道：苫小牧、室蘭
- 東北：仙台、小名浜、八戸、釜石、相馬、宮古
- 関東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、市原、鹿島、千葉
- 中部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市
- 関西：神戸、大阪、姫路、泉大津、和歌山、
- 四国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、東予、高松
- 中国：水島、徳山、広島、岩国、防府、宇部、玉島、大竹、福山
- 九州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、細島、新門司、油津、八代

積地別取扱量



内航船による外航コンテナフィーダ輸送量 平成23年度実績

[揚地別]

揚地	実入コンテナ			空コンテナ			合計			%
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	2,172	4,406	10,984	93	720	1,533	2,265	5,126	12,517	2.2%
東北	3,326	8,601	20,528	204	10,458	21,120	3,530	19,059	41,648	7.2%
関東	8,121	34,295	76,711	4,258	6,039	16,336	12,379	40,334	93,047	16.0%
中部	4,254	12,679	29,612	3,335	17,399	38,133	7,589	30,078	67,745	11.7%
関西	35,991	55,046	146,083	12,402	16,652	45,706	48,393	71,698	191,789	33.0%
四国	5,907	7,286	20,479	13,485	4,939	23,363	19,392	12,225	43,842	7.5%
中国	5,150	10,856	26,862	13,763	21,797	57,357	18,913	32,653	84,219	14.5%
九州	6,104	8,296	22,696	2,204	10,885	23,974	8,308	19,181	46,670	8.1%

総計	71,025	141,465	353,955	49,744	88,889	227,522	120,769	230,354	581,477	100%
----	--------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	------

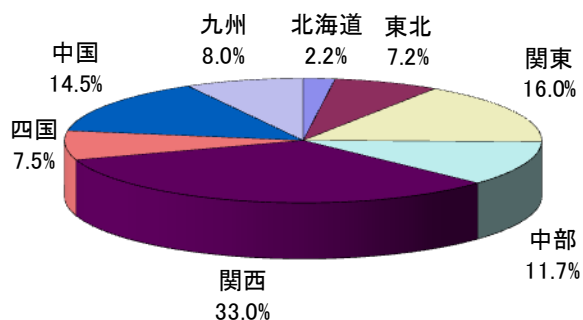
[地域別]

- 北海道：北海道
- 東北：青森、宮城、福島、岩手、秋田
- 関東：東京、神奈川、茨城、千葉
- 中部：静岡、愛知、三重、福井
- 関西：大阪、兵庫、和歌山
- 四国：香川、愛媛、徳島
- 中国：広島、岡山、山口
- 九州：福岡、大分、宮崎、沖縄

[揚地港別]

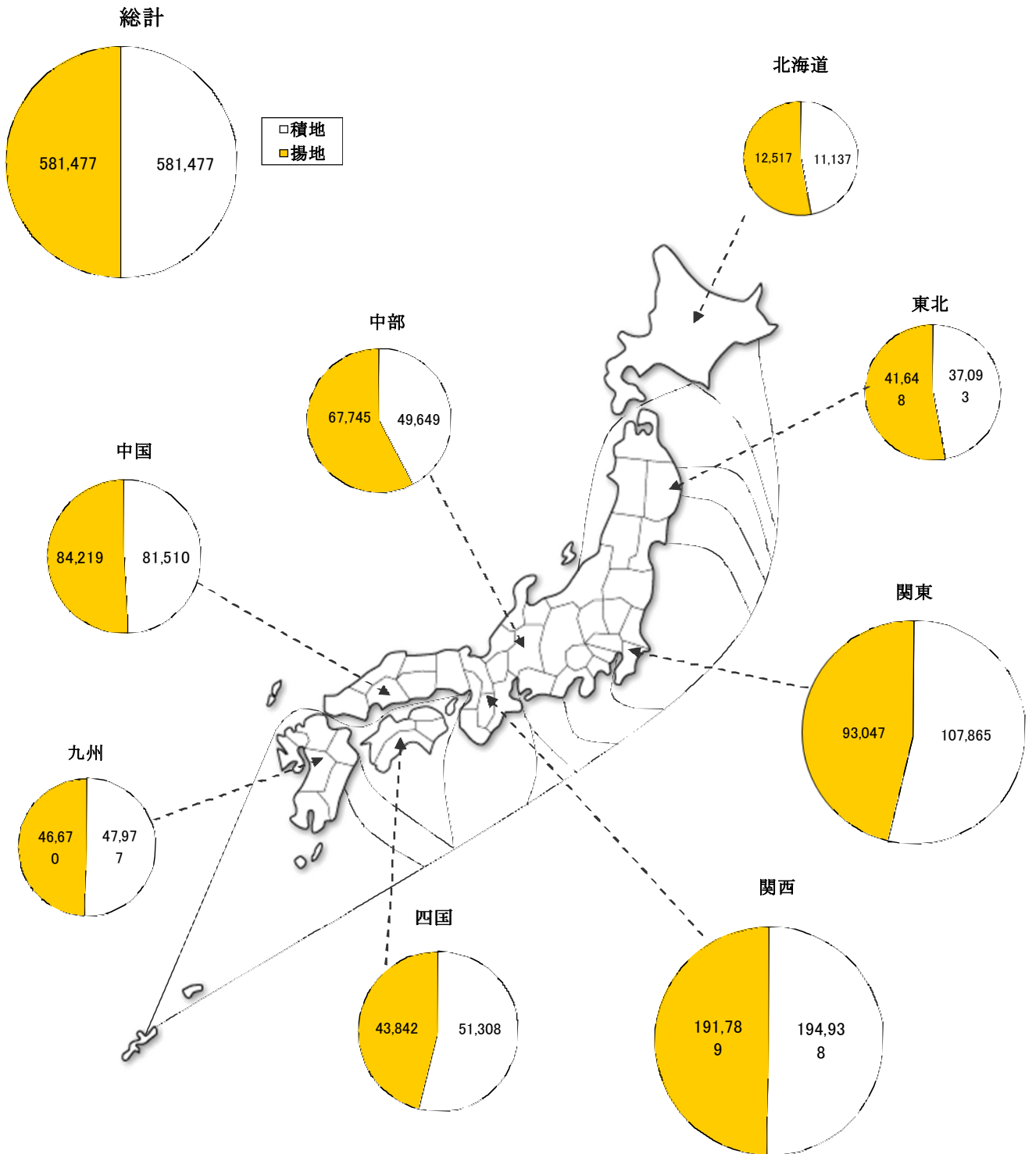
- 北海道：苫小牧、室蘭
- 東北：仙台、小名浜、八戸、相馬、釜石、宮古、秋田
- 関東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、鹿島、市原、千葉
- 中部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市
- 関西：神戸、大阪、姫路、泉大津、和歌山
- 四国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、東予、高松
- 中国：水島、徳山、広島、岩国、防府、宇部、玉島、大竹
- 九州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、細島、新門司、那覇、油津

揚地別取扱量



# 内航フィーダー網及び輸送量

(内航船による外航コンテナ二次輸送量 平成23年度実績)

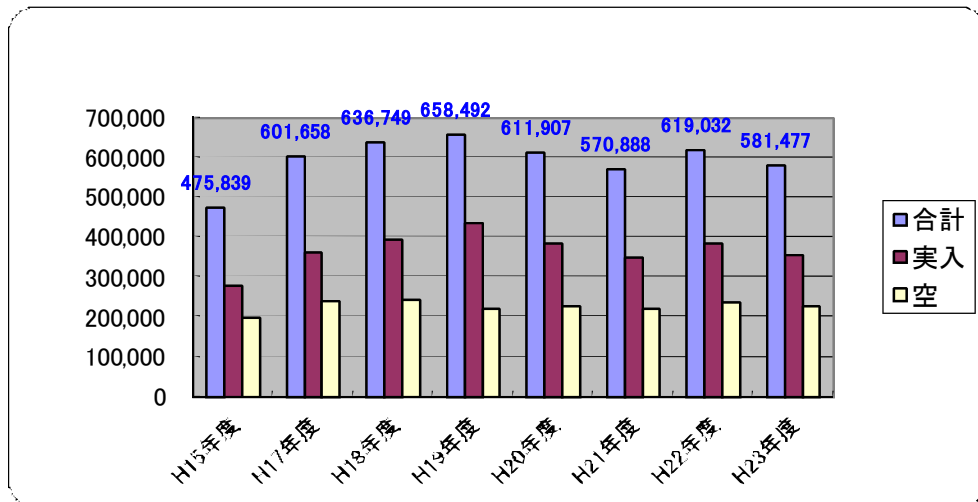


注1. 国内の二次コンテナ輸送のための積・揚総量(through put)は、1,162,954TEUとなる。

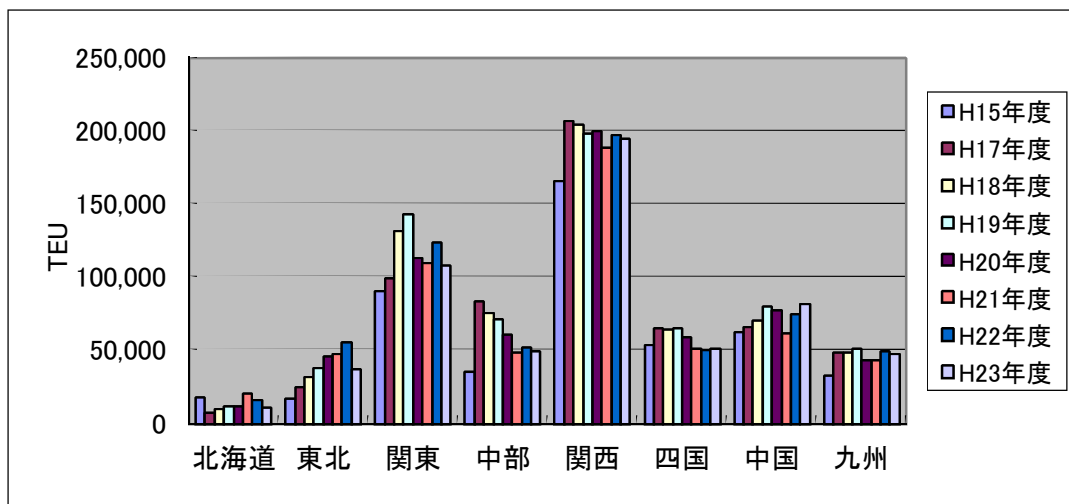
注2. 輸送実績は内航船及びフェリー船によるもので、特許により外航船による輸送量は含まれていない。



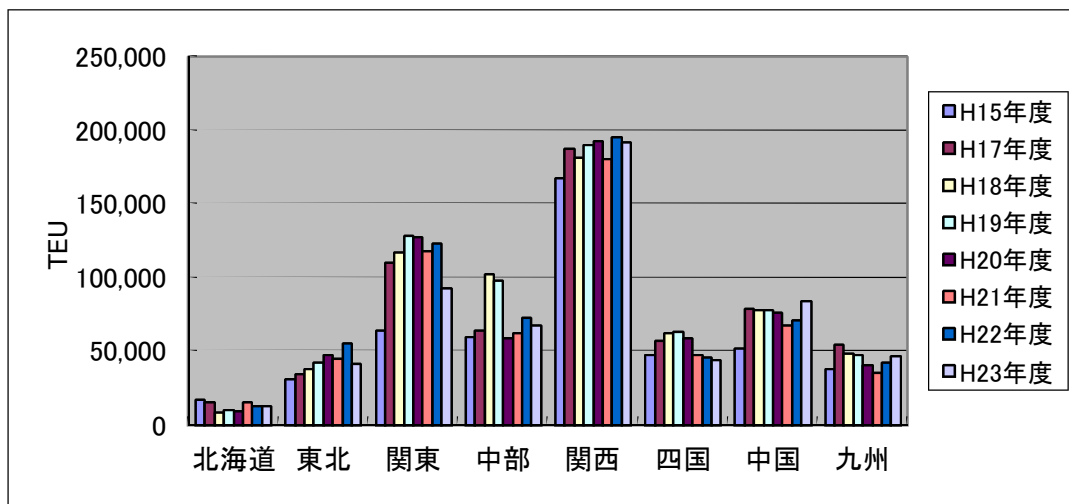
### 内航船による外航コンテナフィーダ輸送量比較(実績ベース)



### 積地による年度増減推移



### 揚地による年度増減推移

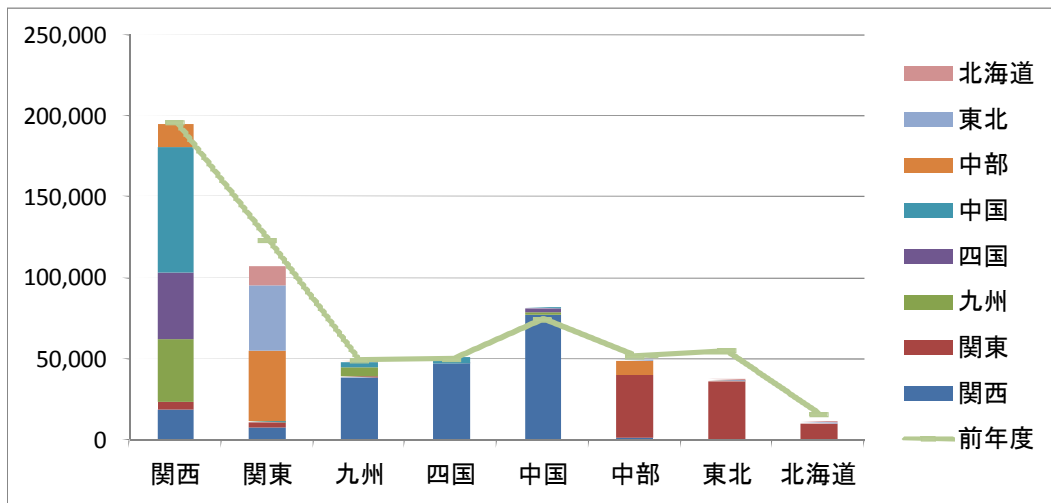




## 地域間流動比較(総計TEU)

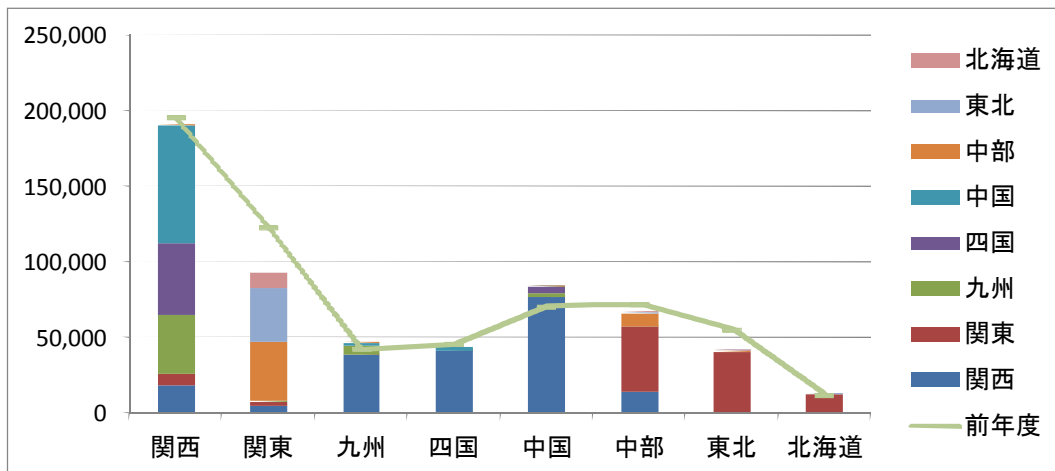
### 1. 積港地域別流動比較

積地	合計(23年度)	合計(22年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ対前年比(%)
北海道	11,137	16,324	-5,187	-31.8%
東北	37,093	55,452	-18,359	-33.1%
関東	107,865	124,087	-16,222	-13.1%
中部	49,649	51,922	-2,273	-4.4%
関西	194,938	196,751	-1,813	-0.9%
四国	51,308	50,077	1,231	2.5%
中国	81,510	74,863	6,647	8.9%
九州	47,977	49,556	-1,579	-3.2%
総計	581,477	619,032	-37,555	-6.1%



### 2. 揚港地域別流動比較

揚地	合計(23年度)	合計(22年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ対前年比(%)
北海道	12,517	12,419	98	0.8%
東北	41,648	55,592	-13,944	-25.1%
関東	93,047	123,067	-30,020	-24.4%
中部	67,745	72,441	-4,696	-6.5%
関西	191,789	195,914	-4,125	-2.1%
四国	43,842	46,108	-2,266	-4.9%
中国	84,219	71,090	13,129	18.5%
九州	46,670	42,401	4,269	10.1%
総計	581,477	619,032	-37,555	-6.1%



## 地域間流動比較(実入、空TEU)

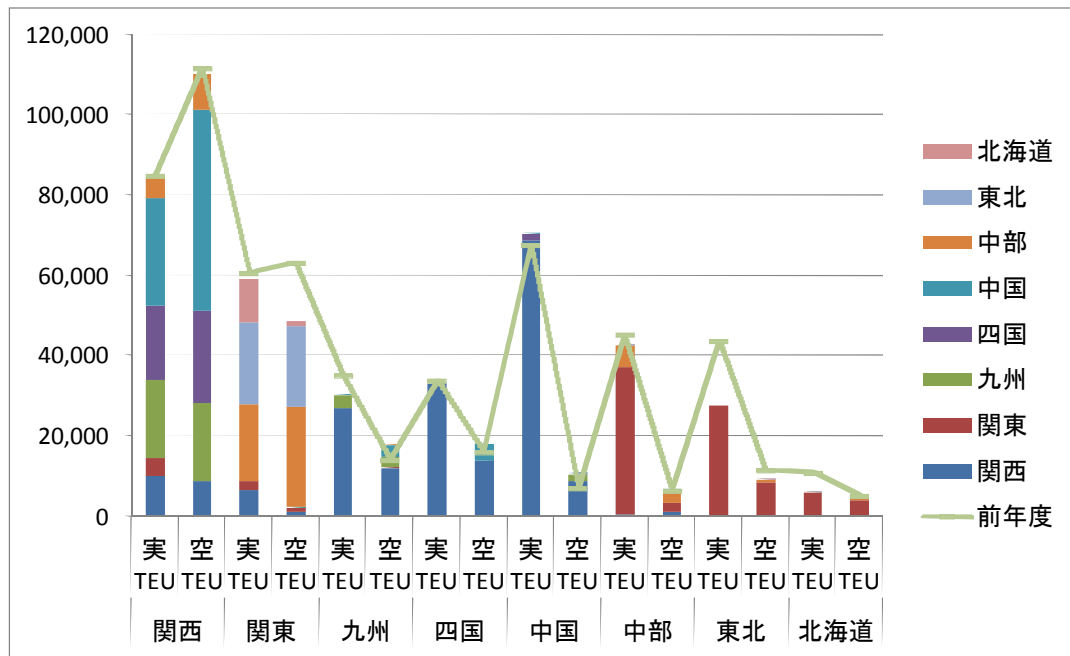
### 1. 積港地域別流動比較

実入コンテナ対比表

積地	合計(23年度)	合計(22年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ対前年比(%)
北海道	5,879	11,005	-5,126	-46.6%
東北	27,538	43,879	-16,341	-37.2%
関東	59,278	60,758	-1,480	-2.4%
中部	42,612	45,302	-2,690	-5.9%
関西	84,626	84,930	-304	-0.4%
四国	33,219	33,944	-725	-2.1%
中国	70,643	67,853	2,790	4.1%
九州	30,160	35,340	-5,180	-14.7%
総計	353,955	383,011	-29,056	-7.6%

空コンテナ対比表

積地	合計(23年度)	合計(22年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ対前年比(%)
北海道	5,258	5,319	-61	-1.1%
東北	9,555	11,573	-2,018	-17.4%
関東	48,587	63,329	-14,742	-23.3%
中部	7,037	6,620	417	6.3%
関西	110,312	111,821	-1,509	-1.3%
四国	18,089	16,133	1,956	12.1%
中国	10,867	7,010	3,857	55.0%
九州	17,817	14,216	3,601	25.3%
総計	227,522	236,021	-8,499	-3.6%



## 地域間流動比較(実入、空TEU)

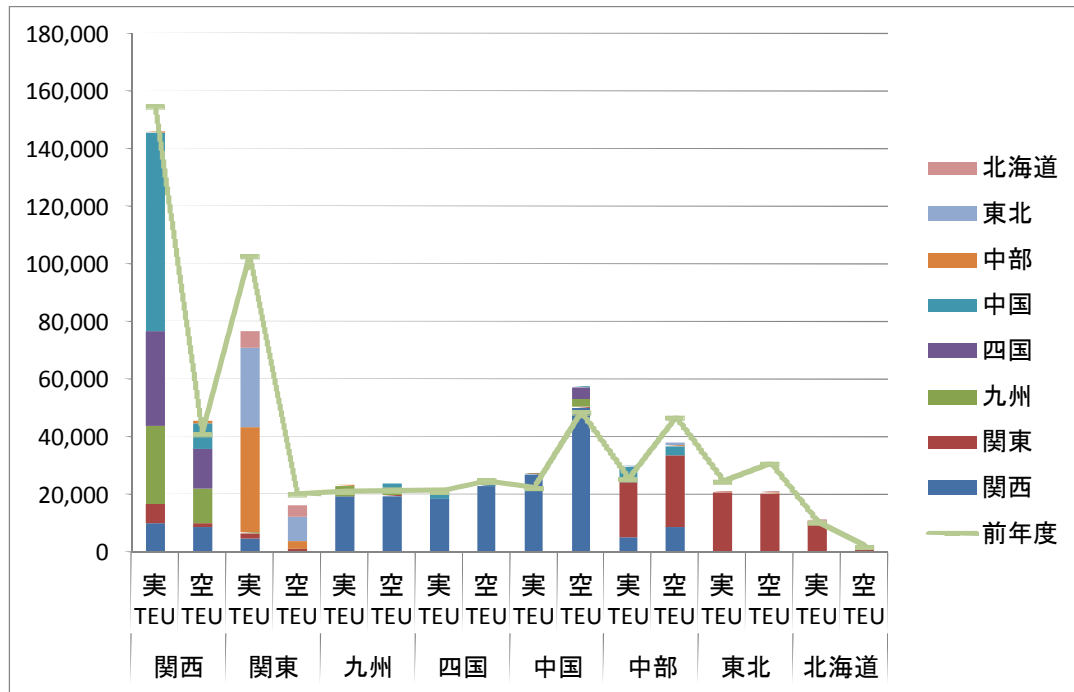
### 2. 揚港地域別流動比較

実入コンテナ対比表

揚 地	合 計(23年度)	合 計(22年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ 対前年比(%)
北海道	10,984	10,279	705	6.9%
東北	20,528	24,648	-4,120	-16.7%
関東	76,711	102,797	-26,086	-25.4%
中部	29,612	25,692	3,920	15.3%
関西	146,083	154,792	-8,709	-5.6%
四国	20,479	21,224	-745	-3.5%
中国	26,862	22,487	4,375	19.5%
九州	22,696	21,092	1,604	7.6%
総計	353,955	383,011	-29,056	-7.6%

空コンテナ対比表

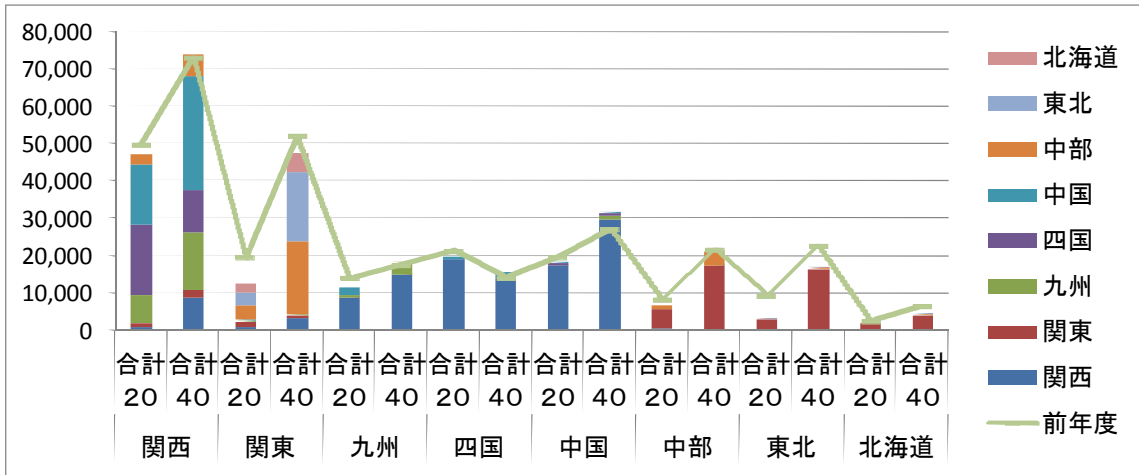
揚 地	合 計(23年度)	合 計(22年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ 対前年比(%)
北海道	1,533	2,140	-607	-28.4%
東北	21,120	30,944	-9,824	-31.7%
関東	16,336	20,270	-3,934	-19.4%
中部	38,133	46,749	-8,616	-18.4%
関西	45,706	41,122	4,584	11.1%
四国	23,363	24,884	-1,521	-6.1%
中国	57,357	48,603	8,754	18.0%
九州	23,974	21,309	2,665	12.5%
総計	227,522	236,021	-8,499	-3.6%



## 地域間流動比較(20'、40' TEU)

### 1. 積港地域別流動比較

積地	合計(23年度)		合計(22年度)		合計対前年比(TEU)		合計コンテナ対前年比(%)	
	20'	40'	20'	40'	20'	40'	20'	40'
北海道	1,873	4,632	2,808	6,758	-935	-2,126	-33.3%	-31.5%
東北	3,085	17,004	9,512	22,970	-6,427	-5,966	-67.6%	-26.0%
関東	12,645	47,610	19,647	52,220	-7,002	-4,610	-35.6%	-8.8%
中部	6,729	21,460	8,392	21,765	-1,663	-305	-19.8%	-1.4%
関西	47,182	73,878	50,083	73,334	-2,901	544	-5.8%	0.7%
四国	19,680	15,814	21,447	14,315	-1,767	1,499	-8.2%	10.5%
中国	18,120	31,695	19,857	27,503	-1,737	4,192	-8.7%	15.2%
九州	11,455	18,261	14,152	17,702	-2,697	559	-19.1%	3.2%
総計	120,769	230,354	145,898	236,567	-25,129	-6,213	-17.2%	-2.6%



### 2. 揚港地域別流動比較

揚地	合計(23年度)		合計(22年度)		合計対前年比(TEU)		合計コンテナ対前年比(%)	
	20'	40'	20'	40'	20'	40'	20'	40'
北海道	2,265	5,126	2,183	5,118	82	8	3.8%	0.2%
東北	3,530	19,059	8,312	23,640	-4,782	-4,581	-57.5%	-19.4%
関東	12,379	40,334	22,253	50,407	-9,874	-10,073	-44.4%	-20.0%
中部	7,589	30,078	11,975	30,233	-4,386	-155	-36.6%	-0.5%
関西	48,393	71,698	52,540	71,687	-4,147	11	-7.9%	0.0%
四国	19,392	12,225	21,434	12,337	-2,042	-112	-9.5%	-0.9%
中国	18,913	32,653	17,528	26,781	1,385	5,872	7.9%	21.9%
九州	8,308	19,181	9,673	16,364	-1,365	2,817	-14.1%	17.2%
総計	120,769	230,354	145,898	236,567	-25,129	-6,213	-17.2%	-2.6%

